

「人財」でお困りなら

**株式会社**  
**mi ミヨシ・ロジスティックス**

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

題字制作：株式会社クワイムエヌシーデー

# KANAKEI

## かながわ経済新聞

会社成長の専門家  
りんくグループ

042-730-7891  
[www.Link-tax.com](http://www.Link-tax.com)

税務・会計・経営支援

0 りんく ちようどいい

2019年 3月号 Vol.063

かながわ経済新聞 2019.3月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

**人財の活用**

前回に引き続き、障がい者雇用について、弊社の実体験からお話したいと思います。弊社は障がい者雇用の適用事業所になっており、現在は5人の障がい者が活躍しています。

適用事業所になった当時、障がい者は1人でしたが、その人数では障がい者の「法定雇用率」を達成することができず、どうしたらよいか随分悩みました。

そんな中、障がい者施設を紹介してもらい、担当者との打ち合わせを重ねました。一概に障がい者といっても、皆さんはそれぞれ違います。その障がいがい生まれ持った先天的なものなのか、事故などにより不自由になってしまった後天的なものなのか、また障がいの種類においても精神的な部分や身体的な部分と、本当にさまざまな方がいらっしゃいます。そうした状況の中で、施設の担当者からは弊社の作業に合



**吉田英訓の**  
**着眼大局 着手小局**  
～人と企業～

う方を紹介してもらいました。

その後、いざ作業に入ると、やはり課題が多く出てきました。それは人的な部分もそうですが、それ以上に「作業性の問題」などです。

他の作業者と比べてしまうと、どうしてもできない部分が出てくるため、全体的に作業性が悪くなる。品質や生産性が落ちていく原因になってきました。

そこで、その状況を打破していくために考え方を変えました。それまでのように「作業中心」に人を配置していくのではなく、「人を中心」に作業を決めていくやり方に変えました。このやり方に変えたことで、障がい者のみならず、他の作業者の生産性、それに品質が保たれるようになっていったのです。

その具体的な施策については、次回詳しく説明していきます。

(ミヨシ・ロジスティックス代表取締役/南西フオーラム委員長)